

不定詞（名詞的・副詞的・形容詞的用法）

中学2年生・英語 / 第7章 / テーマ：将来の夢・趣味

STEP1 今日の英文（本文）

My name is Aya. I like **to play** the piano. My dream is **to be** a music teacher.

Every day, I practice hard **to become** a good player.

Last week, I went to a concert **to hear** a famous pianist.

I was very happy **to see** her performance.

Now I have many things **to do**. I need time **to practice** and songs **to learn**.

"Do you want **to join** our school band?" my friend asked.

"Yes! I want **to share** music with everyone."

To play music is a wonderful way **to make** friends.

I will never stop trying **to reach** my dream!

※ 太字が不定詞（to + 動詞の原形）です。3つの用法があります。

本文の日本語訳

私の名前はアヤです。私はピアノをひくことが好きです。私の夢は音楽の先生になることです。毎日、よい演奏者になるために一生けんめい練習します。先週、私は有名なピアニストを聞くためにコンサートへ行きました。彼女の演奏を見てとてもうれしかったです。今、私にはすべきことがたくさんあります。練習する時間と、覚える曲が必要です。「うちの学校のバンドに入らない？」と友達がたずねました。「うん！ みんなと音楽を分かち合いたい。」音楽を演奏することは、友達を作るすばらしい方法です。私は夢に届こうとする努力を決してやめません！

STEP2 文法の詳細解説（前半）

① 不定詞とは

to + 動詞の原形の形。主語が何でも、過去でも、形は変わらない（to play など）。
使い方によって3つの用法（名詞的・副詞的・形容詞的）に分かれる。

② 名詞的用法「～すること」

名詞のように、**主語・目的語・補語**になる。

- ・ I like **to read**.（読むことが好き＝目的語）
- ・ My dream is **to be** a teacher.（先生になること＝補語）
- ・ **To study** is important.（勉強することは＝主語）

want to / like to / begin to / try to などはこの用法。

③ 副詞的用法「～するために」「～して」

- ・ **目的**「～するために」：I went to the park **to play**.（遊ぶために行った）
- ・ **感情の原因**「～して」：I'm happy **to see** you.（会えてうれしい）

動詞や形容詞（happy, glad, sad など）を後ろから説明する。

④ 形容詞的用法「～するための・～すべき」

名詞の後ろについて、その名詞を説明する。

- ・ something **to eat**（何か食べるもの）
- ・ many things **to do**（すべきことがたくさん）
- ・ time **to study**（勉強する時間）

STEP2 文法の詳細解説（後半）

⑤ 用法の見分け方

訳し方	用法	例
～すること	名詞的	I want to go. (行きたい)
～するために／～して	副詞的	I came to help you.
(名詞)＋～するための／すべき	形容詞的	a book to read

まず日本語にどう訳すかで見分けるとよい。

⑥ よくある間違い

- ✕ I want to played. → ○ I want **to play** (to の後ろは原形)
- ✕ I want to plays. → ○ I want **to play** (s もつけない)
- ✕ something eat to → ○ something **to eat** (名詞＋to＋原形の語順)
- ✕ I went to park for play. → ○ I went to the park **to play**. (目的は to＋原形)

⑦ テスト頻出・覚え方

- ・3用法の識別（名詞的＝～すること、副詞的＝～するために／して、形容詞的＝名詞を修飾）
- ・「目的」の to＋原形への書きかえ（2文を1文に）
- ・something/anything＋to＋原形の語順

覚え方：「不定詞は to＋原形。訳し方で用法を見分ける」。

STEP3 本文の解説（授業の進行順）

① **I like to play the piano. My dream is to be a music teacher.**

訳：私はピアノをひくことが好きだ。私の夢は音楽の先生になることだ。

用法： **名詞的（to play=目的語／to be=補語）**

理由：「～すること」と訳せる。like の目的語、is の補語になっている。

② **I practice hard to become a good player. I went to a concert to hear a pianist.**

訳：よい演奏者になるために練習する。ピアニストを聞くためにコンサートへ行った。

用法： **副詞的（目的）to become / to hear**

理由：「～するために」と訳せる。動作の目的を表す。

③ **I was very happy to see her performance.**

訳：彼女の演奏を見てとてもうれしかった。

用法： **副詞的（感情の原因）to see**

理由：「～して（うれしい）」と訳せる。形容詞 happy の理由を表す。

④ **I have many things to do. I need time to practice and songs to learn.**

訳：すべきことがたくさんある。練習する時間と覚える曲が必要だ。

用法： **形容詞的（things to do / time to practice / songs to learn）**

理由：名詞（things, time, songs）の後ろから「～すべき・～するための」と説明する。

⑤ **To play music is a wonderful way to make friends.**

訳：音楽を演奏することは、友達を作るすばらしい方法だ。

用法： **名詞的（To play=主語）／形容詞的（way to make）**

理由：To play music が文の主語（～すること）。way to make friends は name を修飾（形容詞的）。

STEP4 単語まとめ

単語	品詞	意味	本文中の例文
practice	動詞	練習する	I practice hard ...
dream	名詞	夢	My dream is to be a teacher.
become	動詞	～になる	to become a good player
concert	名詞	コンサート	went to a concert
famous	形容詞	有名な	a famous pianist
performance	名詞	演奏・公演	her performance
share	動詞	分かち合う・共有する	to share music
way	名詞	方法・道	a wonderful way to make friends
reach	動詞	届く・達する	to reach my dream
join	動詞	参加する・入る	to join our school band
learn	動詞	覚える・学ぶ	songs to learn
everyone	代名詞	みんな	share music with everyone
stop ～ing	連語	～するのをやめる	I will never stop trying
hear	動詞	聞く	to hear a famous pianist